

道路詳細設計調書（その1）

（ / ）

業務名	所在地		受注者名		施工箇所	起点側	
			照査・管理技術者名			終点側	
路線名	事務所名		作成年月日		平成 年 月 日		
延長	新設（暫定・完成） 拡幅の区分		遮音壁の設置の有無		付帯施設の有無		
設計条件	道路規格		第 種 第 級		設計速度		km/h
	計画交通量（大型車混入率）		年度		地域分類		積雪寒冷地の区分
	横断面の構成		土 工 部			橋 梁 部	
幾何構造	最小曲線半径		最小曲線長		最小視距		最小緩和曲線長
	最急縦断勾配		同左延長		最小縦断曲線長		最小縦断曲線半径
	横断勾配		片勾配の最大値		最大合成勾配		登坂車線の要否
土	主たる地質		盛土部		切土部		のり勾配
							土砂
工	のり面工の種類		盛土		切土		盛土
			土砂		軟岩 硬岩		切土
最大盛土高		最大切土高		軟弱地盤対策、地すべり対策 防雪施設の要否			

下段は、基準値を記入すること。

道路詳細設計調書（その2）

（ / ）

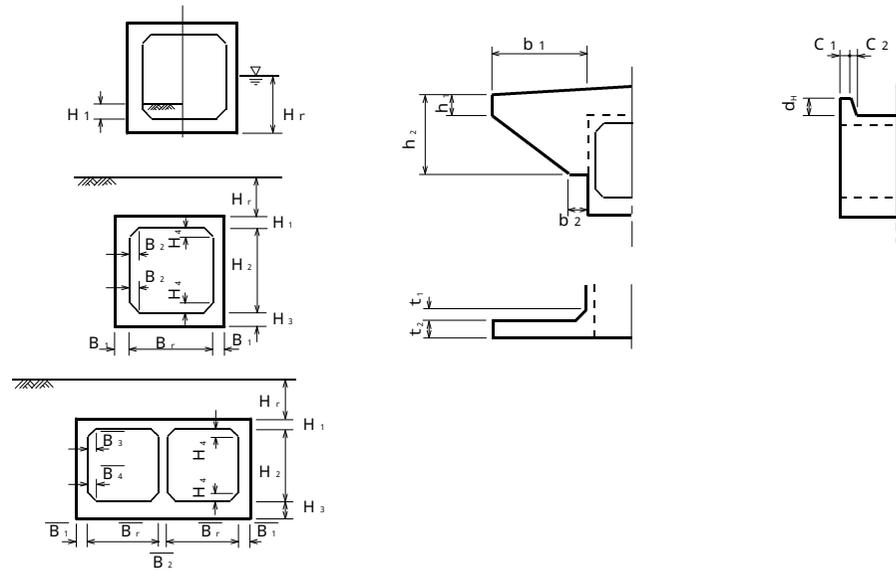
舗装	舗装の種類	交通区分		設計 C B R		主要 数量	盛土量	切土量		のり面積		切土 ----- 盛土	
	舗装構成	路盤の種類		上層	排水 工		舗装面積	車道 ----- 歩道	横断函梁数	箇所	延長	土工	橋梁
				下層		降雨強度	路面 ----- 隣地	断面 決定 概要				備考 欄	
主要流末概念図													
線 形 概 要	測 点												
	縦 断	勾 配											
	線 形	距 離											
	平面線形												

下段は、基準値を記入すること

ボックスカルバート詳細設計調書（その２）

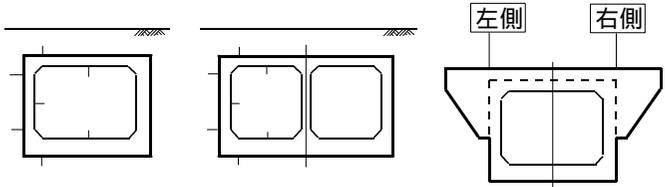
3. 形状寸法データ

本体	H_r	m	B_r	m				
	H_1	m	B_1	m				
	H_2	m	B_2	m				
	H_3	m	B_3	m				
	H_4	m	B_4	m				
ウイング	左口左側		左口右側		右口左側		右口右側	
	b_1	m	b_1	m	b_1	m	b_1	m
	b_2	m	b_2	m	b_2	m	b_2	m
	h_1	m	h_1	m	h_1	m	h_1	m
	h_2	m	h_2	m	h_2	m	h_2	m
	t_1	m	t_1	m	t_1	m	t_1	m
	t_2	m	t_2	m	t_2	m	t_2	m
土留壁	左口左側		左口右側		右口左側		右口右側	
	c_1	m	c_1	m	c_1	m	c_1	m
	c_2	m	c_2	m	c_2	m	c_2	m
	d_H	m	d_H	m	d_H	m	d_H	m



ボックスカルバート詳細設計調書（その3）

4. 部材応力度

概 要 図			寸 法 図				設 計 位 置 図					
												
部 材			頂 版		側 壁		底 版		ウ イ ン グ			
設 計 位 置									左口左側	左口右側	右口左側	右口右側
断 面 図												
断 面 力	M	Nm/m										
	N	N/m										
	S	N/m										
鉄 筋 量	必 要	cm ²										
	最 小	cm ²										
	設 計	cm ²										
	鉄 筋 径	mm										
	間 隔	mm										
	か ぶ り	mm										
応 力 度	設 計 値	c	N/mm ²									
		s	N/mm ²									
		o	N/mm ²									
	許 容 値	ca	N/mm ²									
		sa	N/mm ²									
		oa	N/mm ²									
設 計 計 算 書 ・ 頁												
設 計 図 ・ 番 号												

ボックスカルバート詳細設計調書（その４）

モーメント図	鉄筋組合せ図	鋼材のかぶり図

擁壁工詳細設計調書（その1）

1. 一般事項

業 務 名	
施 設 名	
路 線 名	一般国道 号
所 在 地	
距 離 標	自 km 至 km
事 務 所 名	
受 注 者 名	
管理技術者名	
照査技術者名	
設 計 年 月 日	平成 年 月 日

3. 土砂データ

項 目	単 位	裏 込 土 砂	支 持 地 盤	一 般 土 砂
単 位 重 量 ()	N/m ³			
粘 着 力 (C)	N/m ²			
せん断抵抗角 ()	度			
変形係数 (E _o)	N/m ²			
変形係数算出方法	-			
一軸圧縮強度 (q _u)	kN/m ²			

2. 構造条件

擁 壁 形 式		適 用 基 準 等	
設 置 区 分	背面盛土・背面切土・橋梁等取付・その他 ()		
製 品 区 分	工場製品・場所打ち		
標 準 設 計	無・有	標準設計図	
基 礎 形 式	直接・置換・杭*	杭種・杭径	
盛 土 高 さ	H _o = m	法 面 勾 配	N =
	上載分布荷重 P = N/m ²		
浮力考慮位置	H _w = m	突 起	無・有
コクリート強度	c _k = N/mm ²		
鉄 筋 材 質	SD295・SD345		
設 計 水 平 震 度	地域別補正係数	レ ₁ =	地盤別補正係数
	レ ₂ =		
K _h = レ ₁ ・ レ ₂ ・ 0.15 =			
地 盤 種 別	土	質	層 厚 平均N値
	第 1 層		
	第 2 層		
	第 3 層		
	第 4 層		
液 状 化 判 定	有・無		

注：適用基準等欄の記載例

道示 I - 1 ~ 2 (適用基準短縮名 - 記載頁) で表示する。

注：*は杭基礎設計調書を参照のこと。

擁壁工詳細設計調書（その2）

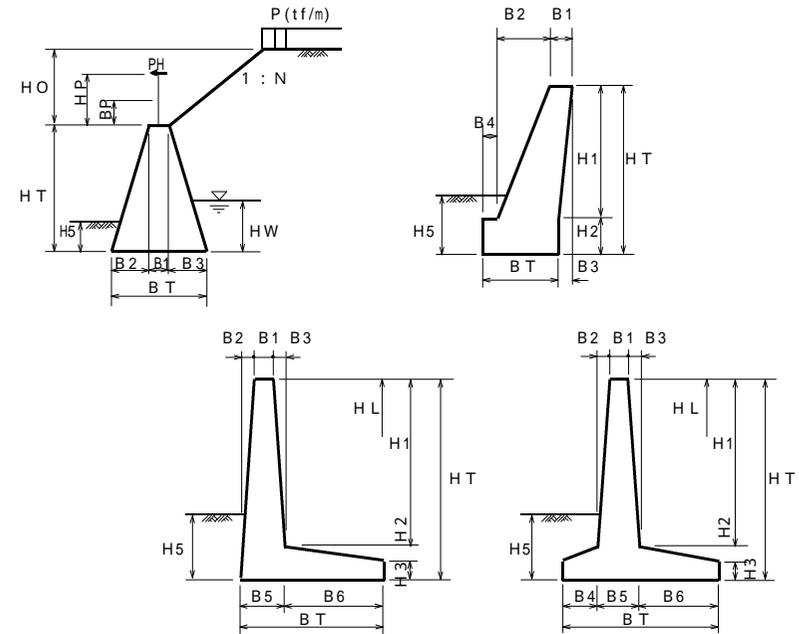
4. 形状寸法データ

擁壁延長	TL =	m	前面土砂高	HS =	m		
防護柵作用荷重	PH =	tf/m	作用位置	HP =	m、BP =	m	
断面 (大側)	HT	H1	H2	H3			
	m	m	m	m			
	BT	B1	B2	B3	B4	B5	B6
	m	m	m	m	m	m	m
断面 (小側)	HT	H1	H2	H3			
	m	m	m	m			
	BT	B1	B2	B3	B4	B5	B6
	m	m	m	m	m	m	m

5. 安定計算結果

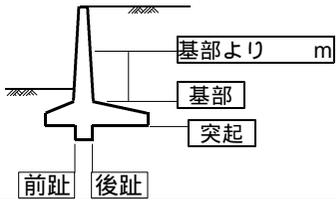
ケ	ス	常時			地震時		
浮	力	有	無	許容値	有	無	許容値
偏	心	量(c) (m)		B/6=			B/3=
滑	動	安全率		1.5			1.2
最	大	地盤反力度(N/m ²)					
鉛	直	支持力(Q) (N/m)					

ケ	ス	常時			地震時		
浮	力	有	無	許容値	有	無	許容値
杭	頭	押込 (N/本)					
反	力	引抜 (N/本)					
水	平	変位 (mm)					



擁壁工詳細設計調書（その3）

6. 部材応力度

概 要 図			寸 法 図						設 計 位 置 図					
														
部 材			壁						フ ー チ ン グ				突 起	
設 計 位 置			基 部		基部より m		基部より m		前 趾		後 趾		突 起	
荷 重 状 態			常 時	地震時	常 時	地震時	常 時	地震時	常 時	地震時	常 時	地震時	常 時	地震時
断 面 図														
断 面 力	M	Nm/m												
	N	N/m												
	S	N/m												
鉄 筋 量	必 要	cm ²												
	最 小	cm ²												
	設 計	cm ²												
	鉄 筋 径	mm												
	間 隔	mm												
	かぶり	mm												
応 力 度	設 計 値	c	N/mm ²											
		s	N/mm ²											
		o	N/mm ²											
	許 容 値	ca	N/mm ²											
		sa	N/mm ²											
		oa	N/mm ²											
設 計 計 算 書 ・ 頁														
設 計 図 ・ 番 号														

擁壁工詳細設計調書（その4）

モーメント図	鉄筋組合せ図	鋼材のかぶり図

基礎工詳細設計調書 (その 1)

(/)

1. 一般事項

業 務 名		事 務 所 名	
施 設 名		受 注 者 名	
路 線 ・ 河 川 名		照 査 ・ 管 理 技 術 者 名	
所 在 地		作 成 年 月 日	平 成 年 月 日
距 離 標	k m	左 右 岸 の 別	

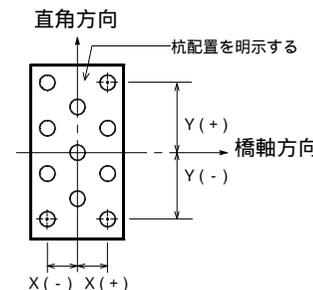
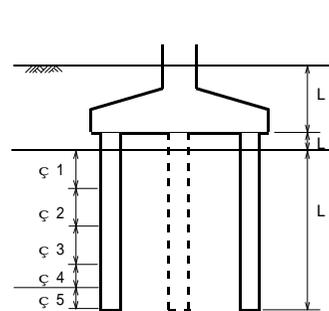
2. 基本事項

杭 群 へ の 作 用 力	M	N	H	施 工 偏 心 M	適 用 基 準 等
	N · m	N	N	N · m	
基 礎 工 形 態	基 礎 形 式	径 (または 短 辺 × 長 辺)		基 礎 長	
		m × m		m	
	頭 部 処 理	施 工 方 法		先 端 処 理	
	底 版 の 根 入 深 さ	突 出 長		有 効 根 入 長	
	L 1 = m	L 2 = m	L 3 = m		
地 層 区 分	l 1 = m	l 2 = m	l 3 = m		
	N 1 =	N 2 =	N 3 =		
	l 4 = m	支 持 層 地 盤		l 5 = m	
	N 4 =		N 5 =		
基 本 デ ー タ	鉄 筋 材 質	コ ン ク リ ー ト 強 度		杭 材 質	腐 食 代
		ck = N / mm ²			mm
	杭 頭 平 均 N 値	変 形 係 数	パネ	(常) KH = N / m ³ KV = N / m	
		Eo = N / mm ²	定 数	(地) KH = N / m ³ KV = N / m	
	許 容 支 持 力 (押 込)		許 容 支 持 力 (引 抜)		許 容 支 持 力 (水 平)
					変 位
安 定	(常)				
	(地)				

3. 基礎工配置データ

軸 方 向 杭 配 置 デ ー タ	距 離 (X)	奥 行 方 向 の 本 数
	1	m 本
	2	m 本
	3	m 本
	4	m 本
	5	m 本
	6	m 本
	7	m 本
	8	m 本
	9	m 本
10	m 本	

軸 直 角 方 向 杭 配 置 デ ー タ	距 離 (Y)	奥 行 方 向 の 本 数
	1	m 本
	2	m 本
	3	m 本
	4	m 本
	5	m 本
	6	m 本
	7	m 本
	8	m 本
	9	m 本
10	m 本	



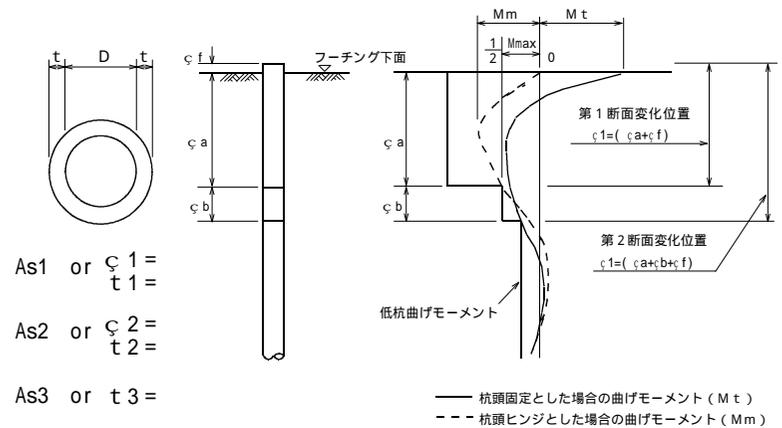
杭配置図を記載する。

注：適用基準等、欄の記載例
道示 I - 1 ~ 2 (適用基準短縮名 - 記載頁) で表示する。

基 礎 工 詳 細 設 計 調 書 (そ の 2) (/)

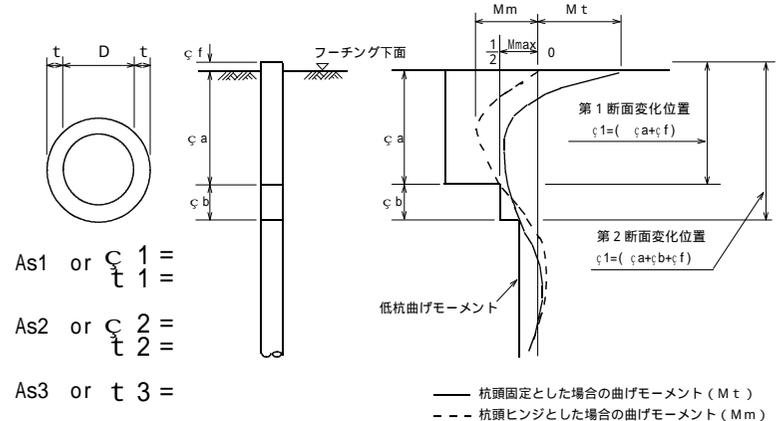
計 算 ケ ー ス 名		単 位	常 時		地 震 時		備 考
安 定 力	杭 偏 心 量	c	m				設計計算書
	頭 全 鉛 直 力	V	N				P
	外 全 水 平 力	H	N/mm ²				設計図番号
	力 偏 心 モーメント		N・m				/
計 算 及 び 杭 の 力	反 力	杭頭変位量	水平変位	x	mm		設計計算書
			鉛直変位	y	mm		P
	変 位	水平力	1本あたり	N			設計図番号
		杭反力	前例 P Nmax	N / 本			/
杭 生 成 力	最大 曲げ モーメント	杭頭部	M t	Nm			設計計算書P 設計図番号 /
		地中部	M m	Nm			
計 算 結 果	杭 鉄筋又は 板厚	Nmax	C	N/mm ²			設計計算書
			S	N/mm ²			P
		Nmin	C	N/mm ²			設計図番号
			S	N/mm ²			/
許容支持力	鉛直支持力	N / 本				設計計算書P 設計図番号 /	
	引 抜 力	N / 本					
許容応力度	圧縮応力度	N/mm ²				設計計算書P 設計図番号 /	
	引張応力度	N/mm ²					
杭 頭 部 計 算 結 果	垂直 支 圧 応 力 度	発 生 値	N/mm ²				設計計算書P 設計図番号 /
		許 容 値	N/mm ²				
	押 抜 き せん断 応 力 度	発 生 値	N/mm ²				設計計算書P 設計図番号 /
		許 容 値	N/mm ²				
	引 抜 き せん断 応 力 度	発 生 値	N/mm ²				設計計算書P 設計図番号 /
		許 容 値	N/mm ²				
水 平 支 圧 応 力 度	発 生 値	N/mm ²				設計計算書P 設計図番号 /	
	許 容 値	N/mm ²					
水 平 方 向 押 抜 き せん断 応 力 度	発 生 値	N/mm ²				設計計算書P 設計図番号 /	
	許 容 値	N/mm ²					

計 算 ケ ー ス 名		単 位	常 時		地 震 時		備 考
仮 想 生 成 値	RC 断 面 値	使用鉄筋量	cm ²				設計計算書
		圧縮 応 力 度	N/mm ²				P
		引張 応 力 度	N/mm ²				設計図番号
		せん断 応 力 度	N/mm ²				/
ケ ー ス 1	水 平 方 向	使用鉄筋量	cm ²				設計計算書
		圧縮 応 力 度	N/mm ²				P
		引張 応 力 度	N/mm ²				設計図番号
		せん断 応 力 度	N/mm ²				/
ソ ン 基 礎	縦 方 向 許 容 値	使用鉄筋量	cm ²				設計計算書
		圧縮 応 力 度	N/mm ²				P
		引張 応 力 度	N/mm ²				設計図番号
		せん断 応 力 度	N/mm ²				/
許 容 値	許 容 値	圧縮 応 力 度	N/mm ²				設計計算書 P
		引張 応 力 度	N/mm ²				設計図番号 /



計算ケース名		単位	常時		地震時		備考
安定 外力	杭頭偏心量	c	m				設計計算書
	全鉛直力	V	N				P
	全水平力	H	N/mm ²				設計図番号
	偏心モーメント		N・m				/
計算 及び 変位 発生	杭頭変位量	水平変位	x	mm			設計計算書
		鉛直変位	y	mm			P
	水平力	1本あたり		N			設計図番号
		杭反力	前例 P Nmax	N / 本			/
杭の 力	最大曲げ モーメント	杭頭部	M t	N / m			設計計算書P 設計図番号
		地中部	M m	N / m			/
計算 結果	鉄筋又は 板厚	Nmax	C	N/mm ²			設計計算書
			S	N/mm ²			P
	Nmin	C	N/mm ²			設計図番号	
		S	N/mm ²			/	
許容支持力	鉛直支持力		N / 本			設計計算書P 設計図番号	
		引抜き力	N / 本			/	
許容応力度	圧縮応力度		N/mm ²			設計計算書P 設計図番号	
		引張応力度	N/mm ²			/	
杭頭部 計算 結果	垂直支圧応力度	発生値	N/mm ²			設計計算書P 設計図番号	
		許容値	N/mm ²			/	
	押抜き せん断応力度	発生値	N/mm ²			設計計算書P 設計図番号	
		許容値	N/mm ²			/	
	引抜き せん断応力度	発生値	N/mm ²			設計計算書P 設計図番号	
		許容値	N/mm ²			/	
水平支圧応力度	発生値	N/mm ²			設計計算書P 設計図番号		
	許容値	N/mm ²			/		
水平方向押抜き せん断応力度	発生値	N/mm ²			設計計算書P 設計図番号		
	許容値	N/mm ²			/		

計算ケース名		単位	常時		地震時		備考
仮想 RC 断面 値	使用鉄筋量	cm ²					設計計算書
	圧縮応力度	N/mm ²					P
		引張応力度	N/mm ²				設計図番号
		せん断応力度	N/mm ²				/
ケ 平 方 向 の 基 礎	使用鉄筋量	cm ²					設計計算書
	圧縮応力度	N/mm ²					P
		引張応力度	N/mm ²				設計図番号
		せん断応力度	N/mm ²				/
縦 方 向 の 基 礎	使用鉄筋量	cm ²					設計計算書
	圧縮応力度	N/mm ²					P
		引張応力度	N/mm ²				設計図番号
		せん断応力度	N/mm ²				/
許 容 値	圧縮応力度	N/mm ²				設計計算書 P	
		引張応力度	N/mm ²			設計図番号 /	



平面交差点詳細設計調書（その1）

1. 計画概要

業務名						
所在地						
事務所名						
受注者名	(監・設計者名)					
作成年月日	平成 年 月 日					
事業区分	点(交差点)・線(道路)・面(地域)の改良・新設(印)					
全体計画	km		今回計画(内数)		km	
事業計画	事業着手 用地買収期間(予定)		年 月		~ 年 月	
	工事着手(予定)		年 月			
	工事完了(予定)		年 月			
	供用開始(予定)		年 月			
道路名	主道路					
	主道路					
	従道路					
	従道路					
道路の構造・規格	主従の別	道路区分	設計速度(km/h)	最急縦断勾配(%)	最小曲線半径(m)	標準横断面構成(m)
	主	種 級	-----	-----	-----	全幅 m
	主	種 級	-----	-----	-----	全幅 m
	従	種 級	-----	-----	-----	全幅 m
従	種 級	-----	-----	-----	全幅 m	
標準横断面図						
主						
従						

下段は適用基準等、発行年月日と適合ページを記入する。

2. 交差点計画

交差点名	通称・番号・記号等					
交差点部設計計画	交差点制御方法(信号制御 ・ 一時停止)					
	主従の別	設計車両(印)	交差点付近の設計速度	交差点付近横断勾配・区間距離	曲線半径(m)	交差角度
	主	小型車	-----	-----	-----	-
	従	普通車 セミトレ	-----	-----	-----	度
右左折車通行方法			導流路曲線半径(m)		導流路幅員(m)	
主	方面から	右折		外側	内側	
		左折		外側	内側	
	方面から	右折		外側	内側	
		左折		外側	内側	
従	方面から	右折		外側	内側	
		左折		外側	内側	
	方面から	右折		外側	内側	
		左折		外側	内側	
交通量	主			従		
	・現況 ・予測 ・車種別 ・方向別 ・歩行者 ・特異交通流等					
付加車線設置計画	主			従		
	計画有・無(印) 右折・左折車線(印) 付加車線(折)の必要性			計画有・無(印) 右折・左折車線(印) 付加車線(折)の必要性		
	(有・無)			(有・無)		
	滞留長 テール長(減速車線長)			滞留長 テール長(減速車線長)		
付加車線幅員			付加車線幅員			
本線シフト区間長			本線シフト区間長			

平面交差点詳細設計調書（その2）

(/)

3. 道路管理者所管の交通安全施設等の計画

視線誘導標	(有・無) (交差点部・計画区間全線)
道路照明	(有・無) (交差点部・計画区間全線)
防護柵	(有・無) (交差点部・計画区間全線)
歩道	(有・無) (両側・片側) (歩車道境界・路外境界線) (マウントアップ・フラット) (歩車道境界ブロックの高さ cm)
	・計画区間内のバス停留所の有無 (有・無) ・交差点付近のバス停留所の有無 (有・無) ・バス停留所の有無(有・無)・必要性の有無(有・無) ・バス停留所の位置の適否(交差点 流出側・流入側) (見通し 良・不良)
通学路	通学路の指定 (有・無) 将来の可能性 (有・無)
その他	

注：道路照明、バス停、通学路の位置等は、図面上に正確に図示すること。

4. 交通規制計画

線の規制	主	現況	事業後
	従	現況	事業後
点の規制	主	現況	事業後
	従	現況	事業後
信号機	交差点名 概設信号機 (有・無) 信号運用状況 三色(時間 ~) 点灯(時間 ~) 滅灯(時間 ~) 移設, 増灯の必要性 (有・無) 新設の必要性 (有・無)		
横断歩道・自転車横断帯			
その他			

5. 事業計画上の問題点及び今後の調整事項